



幸せをつくる

～あなたがいて わたしがいる～

学校だより

上越市立東本町小学校

2024年11月21日号

TEL 025-523-2446

Mail e-honcho@jorne.or.jp

http://www.e-honcho.jorne.ed.jp



2024 東本町小学校同和教育研修会開催

～ 皆様へのお礼【開会の挨拶】～

校長 松岡 博志

11月15日（金）に学校とPTA主催による同和教育研修会が開催されました。ご来賓、教育関係者の皆様、そして保護者の皆様、総勢326名から当校へお越しいただきました。心より感謝を申し上げます。また、当日は駐車場整理など、保護者の方からたくさんご協力をいただきました。重ねて御礼を申し上げます。

当日全体会の「開会の挨拶」（抜粋）を以下にご紹介いたします。

1984年に始まった、学校とPTA主催によるこの同和教育研修会も本年度で40年目を迎えます。また、本年度、当校は文部科学省の「人権教育研究推進事業校」に選ばれ、今まで築き上げてきた実践的な研究を拠り所に、人権教育、同和教育の一層の推進に取り組んでおります。

同和教育を中核とした教育課程を編成し、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消に向け、子どもの人権感覚を高めるとともに、公平公正で、正しい実践行動力をはぐくむことを目指した当校の取組は、本日に至るまで一步一步、歩みを進めています。

さらに、本年度は指導案・資料集「愛・いのち」の改訂版第5集を発刊させていただきました。当校の同和教育研修会で用いる資料や指導案が、多くの学校でも活用していただき、人権教育、同和教育の充実に向けた一助になることを思い、作成された「愛・いのち」です。ぜひ、たくさんの方から目を通していただき、自校の実践に役立てていただければ幸いに思います。

生き方教育そのものである、部落問題学習、人権学習を構想し、展開するには、同和教育に係る教師の問題意識の醸成や目の前の子どもの幸せを願う教師の人権尊重の精神が大切であると考えます。人権教育、同和教育をとおり、教師自身が人間としての生き方を学ぶ、尊い営みであることに気付き、心に留めて、あらゆる差別の解消に向けた実践が全ての教育現場でなされることを願っています。

結びに、大変ご多用の中、お越しいただきました参会者の皆様に心より感謝を申し上げますとともに、当校の取組に対し、忌憚のないご意見、ご指導をいただきますことをお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

◆同和教育研修会2024 ～文部科学省 人権教育研究指定校事業～

11月15日(金)に、上越市と共催で「同和教育研修会2024」を開催し、全学年授業公開を行いました。来賓・教職員・保護者で総勢326名の方々からご参会いただきました。また講演会では、埼玉県在住(部落解放同盟埼玉県連合会女性部部長、さいたま市五反田会館協力員)の古河 邦子 様より、『今こそ、子どもたちを大事にする同和教育を』という演題でご講演いただきました。



◆同和教育研修会を機縁として…「思い込み」や「決めつけ」をなくすために

私たちは普段から知らず知らずのうちに、勝手な「思い込み」や「決めつけ」などの固定観念や、誤った認識や偏見をもってしまふことがあります。インターネット上の根拠のない情報や人からのうわさ話で、印象を普遍化してしまうと、偏った見方に陥ってしまいます。

まずは、自分の考えや感覚が「思い込み」や「決めつけ」ではないか、一歩踏み下がって客観的に捉えることが重要です。人権とは、誰もが生まれながらにもっている、人間が人間らしく生きていくための権利です。また、私たちは性別や生まれ育った環境等も異なり、考え方や趣味・趣向などもさまざまで、個性をもった一人の個人として尊厳されるべき存在です。そのためには、相手の立場に立って考えることが必要で、相手の気持ちや思いを理解することが大切です。

毎年、保護者の皆様に、学校説明会を行い、その中で特別支援教育について説明しています。近年、認知が進んでいる発達障害についても紹介させていただきました。その際、特性の一例（ADHD は行動抑制ができず、トラブルが多いなど）を提示しましたが、「〇〇の特徴がある」というわけではありません。誤解を生む表記になっていたことを深くお詫び申し上げます。

誰でも、得意・不得意があります。学校教育における合理的配慮では、子どもにとって有効な支援が途切れることなく継続され、十分な学びを保障することにつながっています。その子どもへの支援を、うわさ話による「誤った認識や偏見」と捉えてほしくはありません。

学校と家庭、地域が協力し合い、子どもも大人も豊かな人権感覚を醸成し、幸せな人生が送れるよう、同和教育研修会を機会に考えていきたいものです。12月2日（月）～6日（金）まで、個別面談が行われます。お子さんのことで困っていること、心配なことがございましたら、学校までご連絡ください。



その子に合った台（支援）があることで、皆が学びやすくなります。周りの人が、どれくらい理解しているかで、子どもの学びが大きく変わります。

◆メディア・コントロール週間について

12月2日（月）～6日（金）は、メディア・コントロール週間です。前期学校評価では、「[児童] 家の人とメディアの約束や時間を決め、それを守っていますか。」の項目で80.3%と児童はメディア・コントロールができていると評価しているものの、「[保護者] ご家庭では、お子さんとメディアの約束を決め、お子さんと取り組んでいますか。」の項目では69.5%と保護者の捉えは異なり、家庭でのメディア・コントロールが当校の重要な課題となっています。11月20日（水）・25日（月）には、学校保健委員会で「メディア依存と健康」について、「さいがた医療センター 心理療法士 樋掛尚文 様」よりご講話をいただきます。まだ参加可能ですので、どうぞお越しください。また、（社）日本小児科医会では、メディアとの接触について以下のように提言しています。

- すべてのメディアへ接触する総時間を制限することが重要です。1日2時間までを目安と考えます。ゲーム等は1日30分までを目安と考えます。
- 子ども部屋にはテレビ、ビデオ、PC等を置かないようにしましょう。
- 保護者と子どもで、メディアを上手に利用するルールをつくりましょう。



子どもだけではメディア・コントロールを行うことは難しいです。家族の協力がなくては、できません。この機会に、家族でメディアとのかかわり方を考え、実践できるようにしてみましょう。

◆後期読書旬間について

11月18日(月)～29日(金)は、後期読書旬間です。前期学校評価では、「[児童]読書は好きですか。」の項目で85.8%と読書に興味があるものの、「[保護者]ご家庭では、お子さんの読書環境づくりに努めていますか。」の項目では47.6%となり、家庭での読書習慣が課題です。

「家読」という言葉をご存知でしょうか。「家読」は、「家庭読書」の略語で、「家族みんなて読書をすることで家族のコミュニケーションを深める」ことを目的にした読書運動だそうです。読書旬間中の「親子読書」では、子どもを中心に家族で本を読み、読んだ本の感想を話し合ってみてはいかがでしょうか。



【11・12月 生活目標】

○ 幸せな学校をつくろう

○ 学校をきれいにしよう



11月19日(火)に「しあわせ集会」が行われました。「幸せな学校をつくる」ために大切にしたいことや「幸せニュース」について話し合い、ふれあい班ごとに頑張りたいことを共有しました。「幸せな学校をつくる」ために、自分たちがどんな行動ができるのか、互いに考え合いました。

◆グリーントイムの校地内車両通行禁止について(お願い)

日頃より、グリーントイム(7:45～8:00)の、校地内(グリーンロード)への車両通行禁止について、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。冬季間になると、荒天が予想されます。車による送迎の場合は、グリーントイム(7:45～8:00)の間は、児童の安全・安心の観点から、校地内への車両の乗り入れはできませんので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

また、寒くなってくるとポケットに手を入れながら登校している児童を多く見かけます。転倒時に、すぐ手を着くことができず大変危険ですので、手袋の着用をお願いします。

12月の行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	日		17	火	ダンスクラブ発表会[13:15～](体育館)
2	月	★個別懇談① 学校図書館司書勤務日 メディア・コントロール週間(～6日)	18	水	学習情報指導員勤務日
3	火	★個別懇談②	19	木	学校図書館司書勤務日
4	水	学習情報指導員勤務日	20	金	
5	木	★個別懇談③	21	土	
6	金	★個別懇談④ スクールカウンセラー訪問日[午前]	22	日	
7	土		23	月	2学期終業式[児童下校13:20]
8	日		24	火	冬季休業
9	月	学校訪問カウンセラー訪問日[午後]	25	水	
10	火	2年校外学習[1～5限](うみがたり) 学習情報指導員勤務日	26	木	
11	水	町子ども会(3限)	27	金	
12	木	委員会	28	土	
13	金	マーチング移杖式[13:10～13:30] 学校図書館司書勤務日	29	日	
14	土		30	月	閉庁日
15	日		31	火	閉庁日
16	月	口座振替日 2学期末大清掃(～20日)			冬季休業(～1月7日(火)まで)

